

リーディングDXスクール事業【実践事例】

矢板市立矢板中学校

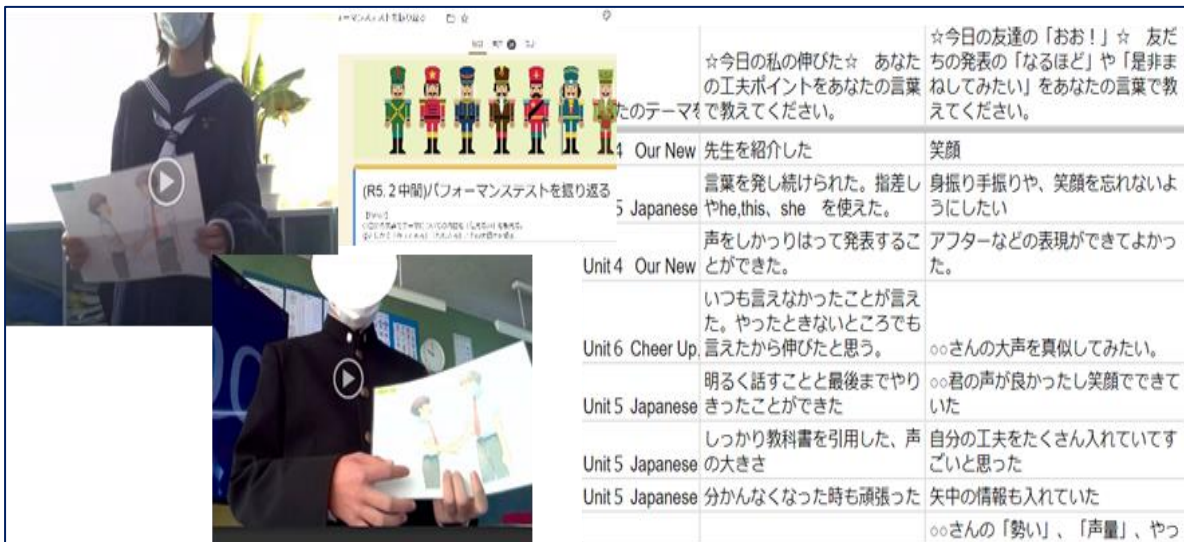
【取組内容①】自己調整力の向上を意識させたパフォーマンステストの実践と振り返り

【実践の目的】

話すこと（発表）のパフォーマンステストを動画撮影し、友人の考えを「振り返りフォーム」で共有することで、自分の良かった点、友人の良かった点を比較し改善、実行しやすくする。

【実践内容】

話すこと(発表)において、伝える力を向上させるために自分のパフォーマンスを動画撮影し、Googleフォームにて振り返りさせ、自分の言葉で良かった点をその場で共有することでフィードバックが効果的にできるようにした。



	☆今日の私の伸びた☆ あなたの工夫ポイントをあなたの言葉で教えてください。	☆今日の友達のおお！☆ 友だちの発表の「なるほど」や「是非まねしてみたい」をあなたの言葉で教えてください。
1 Our New	先生を紹介した	笑顔
5 Japanese	言葉を発し続けられた。指差しやhe, this, she を使えた。	身振り手振りや、笑顔を忘れないようにしたい
Unit 4 Our New	声をしっかりと発表することができた。	アフターなどの表現ができてよかった。
Unit 6 Cheer Up,	いつも言えなかったことが言えた。やったときないところでも言えたから伸びたと思う。	○○さんの大声を真似してみたい。
Unit 5 Japanese	明るく話すことと最後までやりきったことができた	○○君の音が良かったし笑顔でできていた
Unit 5 Japanese	しっかり教科書を引用した、声の大きさ	自分の工夫をたくさん入れていてすごいと思った
Unit 5 Japanese	分かんなくなった時も頑張った	矢中の情報も入れていた ○○さんの「勢い」、声量、やっ

【実践を振り返って】

・動画の提出、「振り返り」の共有が即座にでき、生徒が自分のパフォーマンスと比較するのに役立った。

・実際のテスト実施前に、何度か動画撮影をして自分のパフォーマンスを見ることで、生徒個人がそれぞれ改善し、実行できた生徒が多かった。また、友人の振り返りを共有することで次回のテストに向けて意欲向上につながった。